

# ポストセレコレの2GSO

株式会社 エレベータ研究所

# 1はじめに

ポストセレコレの2台群管理システム(2GSO)は、次のような特長がある。

(1) 平常時・混雑時などの2WAY交通時に2倍の台数のセレコレの群管理システムと同じ待ち時間性能を持つ。

(2) アップピークには分担しているセクタの行先階を2台で均等に分割し、ダウンピークには分担しているセクタ内の呼びを2台で均等に分割することで、停止数を最小にし、輸送能力を最大にする。

①モダニゼーションに適用されるNUCLEUS(M方式)、

②高層オフィスビルに適用されるNUCLEUS(L+A方式)、

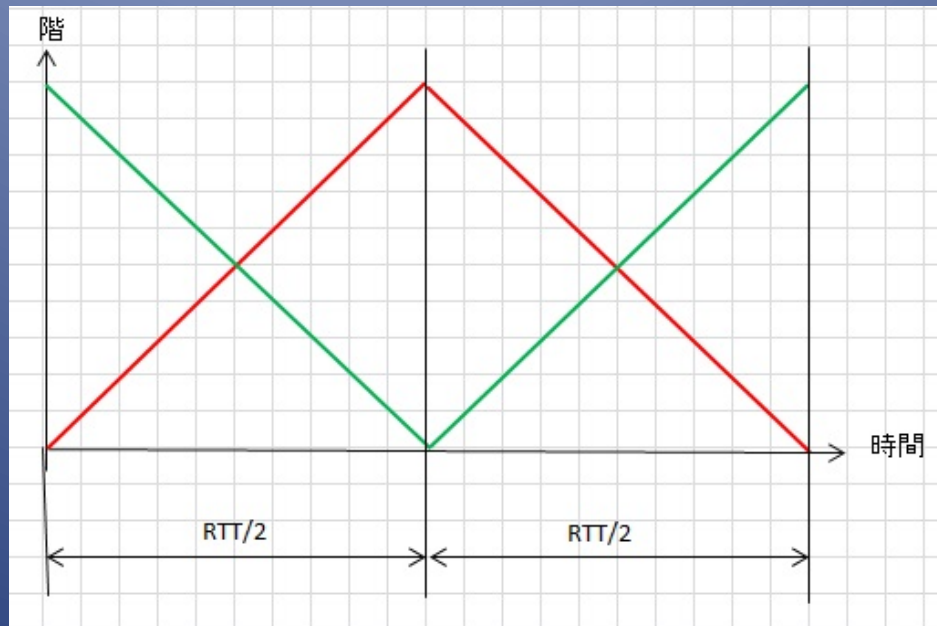
③超高層マンションに適用されるNUCLEUS(L+A改方式)は、

ポストセレコレの2台群管理システムを組み合わせ構成されるエレベータシステムである。

以下では、ポストセレコレの2台群管理システムの特長について、従来のセレコレの2台群管理システムと比較して説明する。

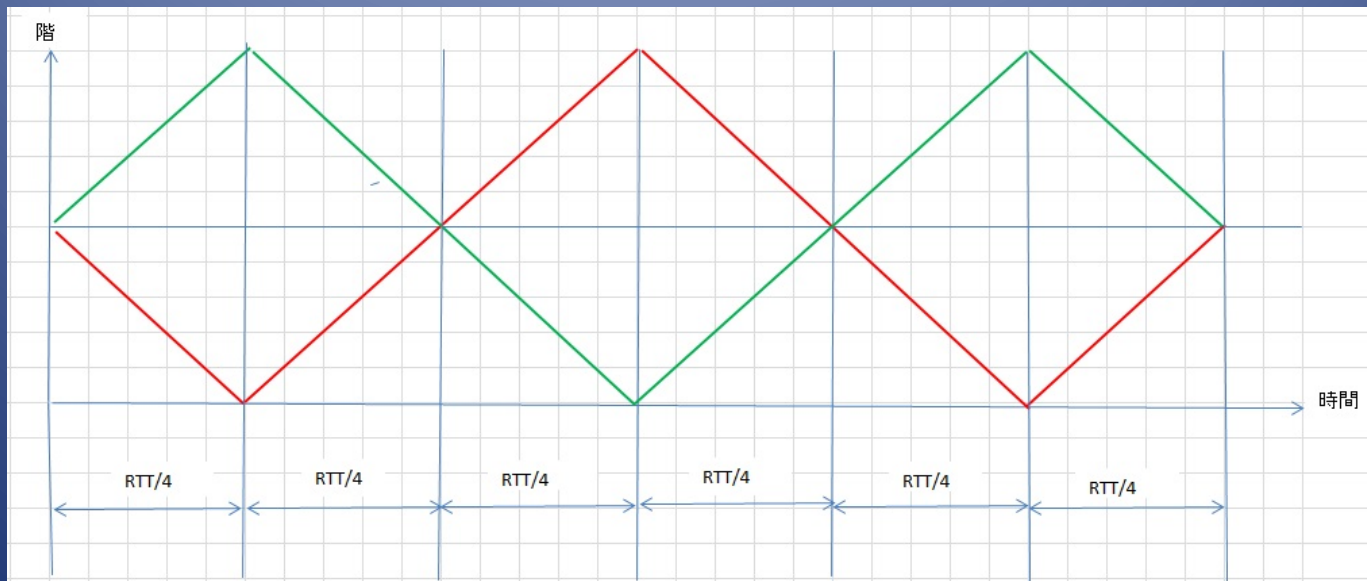
## 2. セレコレの2GSOの待ち時間性能

下図に示すように、セレコレは、同一方向の乗客だけが乗合するので、各階のそれぞれの方向の乗客が乗車できるかごは、理想的に制御された場合には平均RTT/2毎に到着する。従って、乗客から見た平均運転間隔はRTT/2となり、最初に到着したかごに必ず乗車できる場合の平均待ち時間はRTT/4となる。



### 3. ポストセレコレの2GSOの待ち時間性能

下図に示すように、ポストセレコレは両方向の乗客の乗合ができるので、乗客が乗車できるかごが各階に平均 $RTT/4$ 毎に到着する。  
そのため、各階の乗客から見て、平均運転間隔は $RTT/4$ になる。  
従って、平均待ち時間は $RTT/8$ になる。



## 4. ポストセレコレの2GSOの輸送能力

アップピークには、基準階の各かごの入り口扉上に設置されたサービス階表示装置を用いて、

各かごの行先階を群毎に分担するセクタから更に半減することで、RTTを最小にして、輸送能力を最大にする。

サービス階は固定で変化しないので、チャネリングのような混乱は起きない。